

授業展開案 高等学校地理歴史「日本史 A」

1 テーマ

日露戦争とその影響

2 I C T 利活用のねらい

日露戦争後の経緯及び列強との関係の変化について、I C T 機器を用いて関連する図を表示することによって効率よく知識事項の説明をする。また、当時の外交の在り方について、地図を用いて視覚的に把握させることで、空間的に歴史を捉えることの大切さに気付かせる。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「大日本帝国の拡大」(Microsoft PowerPoint)のスライド 6～9
ワークシート「日露戦争とその影響」(Microsoft Word)

4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>※学んだことをワークシートに記入する。</p> <p>北清事変・日露戦争・ポーツマス条約の経緯について確認する。</p> <p>日露戦争後の日本の大陸進出と列強との関係について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争後の東アジア情勢 ・韓国併合 ・満州経営 <p>下関条約での遼東半島獲得後の三国干渉のような障害もなく、日露戦争後の領土・利権の拡大を進めることができた理由を考察する。</p>	<p>①説明の補助：日露戦争に関連する地図を電子黒板に提示する。</p> <p>②説明の補助：日露戦争後の動向に関連する地図を電子黒板に提示する。</p>

5 ICT利活用のポイント

①説明の補助

教材「大日本帝国の拡大」を用いて説明する。日露戦争に関連する歴史的な出来事(北清事変・日露戦争・ポーツマス条約)についての地図・図を、アニメーション機能を活用しながら電子黒板に表示する。日露戦争の経緯を視覚的に把握させるとともに、生徒がワークシートやノートに記入しながら教師の説明を聴くことで、効率よく知識事項の確認を行うことができる。



②説明の補助

教材「大日本帝国の拡大」を用いて説明する。日露戦争後の東アジアの動向についての地図・図を、アニメーション機能を活用しながら電子黒板に表示する(図1)。

さらに「韓国併合」「満州経営」についてのスライドを表示させ、それぞれ詳細についてアニメーションを活用しながら説明する(図2・3)。日露戦争後の東アジア情勢及び列強との関係を視覚的に把握させるとともに、生徒がワークシートやノートに記入しながら教師の説明を聴くことで、効率よく知識事項の確認を行うことができる。

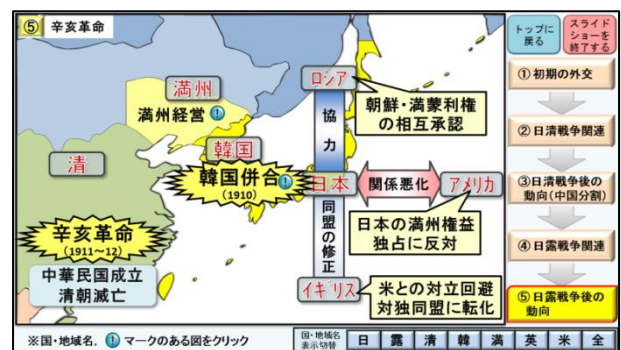


図1 日露戦争後の東アジアの動向に関する地図

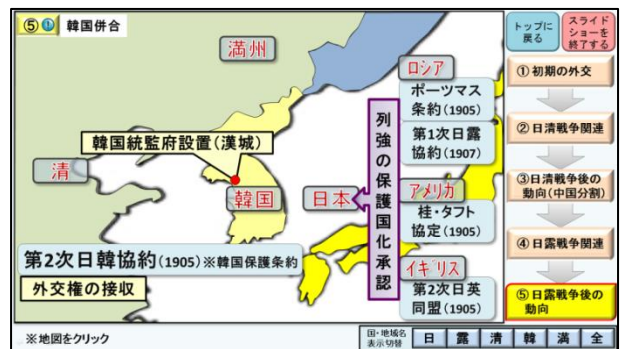


図2 韓国併合に関する地図

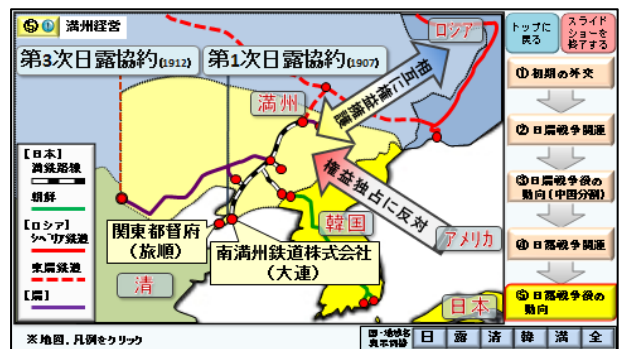


図3 満州経営に関する地図